

浦添市環境基本計画

年次報告書（令和4年度版）

豊かな自然と文化を育み、次世代へつなぐ環境共生都市・浦添



内間の大アカギ



オオバナアリアケカスラ



当山の石畳道



浦添大公園自然観察



屋富祖の御願所のカシュマル



安波茶樋川



安波茶橋



環境月間パネル展



カーミージー（空寿崎）



オキナワキノボリトカゲ



環境学習講座

令和6(2024)年4月

目次

1. 浦添市環境基本計画の概要	3
○浦添市環境基本計画とは	3
○計画期間.....	3
○計画の全体像	3
○推進体制.....	4
○進捗管理.....	4
2. 環境保全・創造のための施策の実施状況	5
○基本目標1「人と自然との共生」	5
○基本目標2「良好な生活環境保全」	6
○基本目標3「循環型社会の構築」	8
○基本目標4「地球環境の保全」	9
○基本目標5「協働・参画社会の構築」	10
【資料編】社会情勢及び市域環境の現況.....	12
○環境をとりまく社会情勢と政策の動向（2000年以降）	12

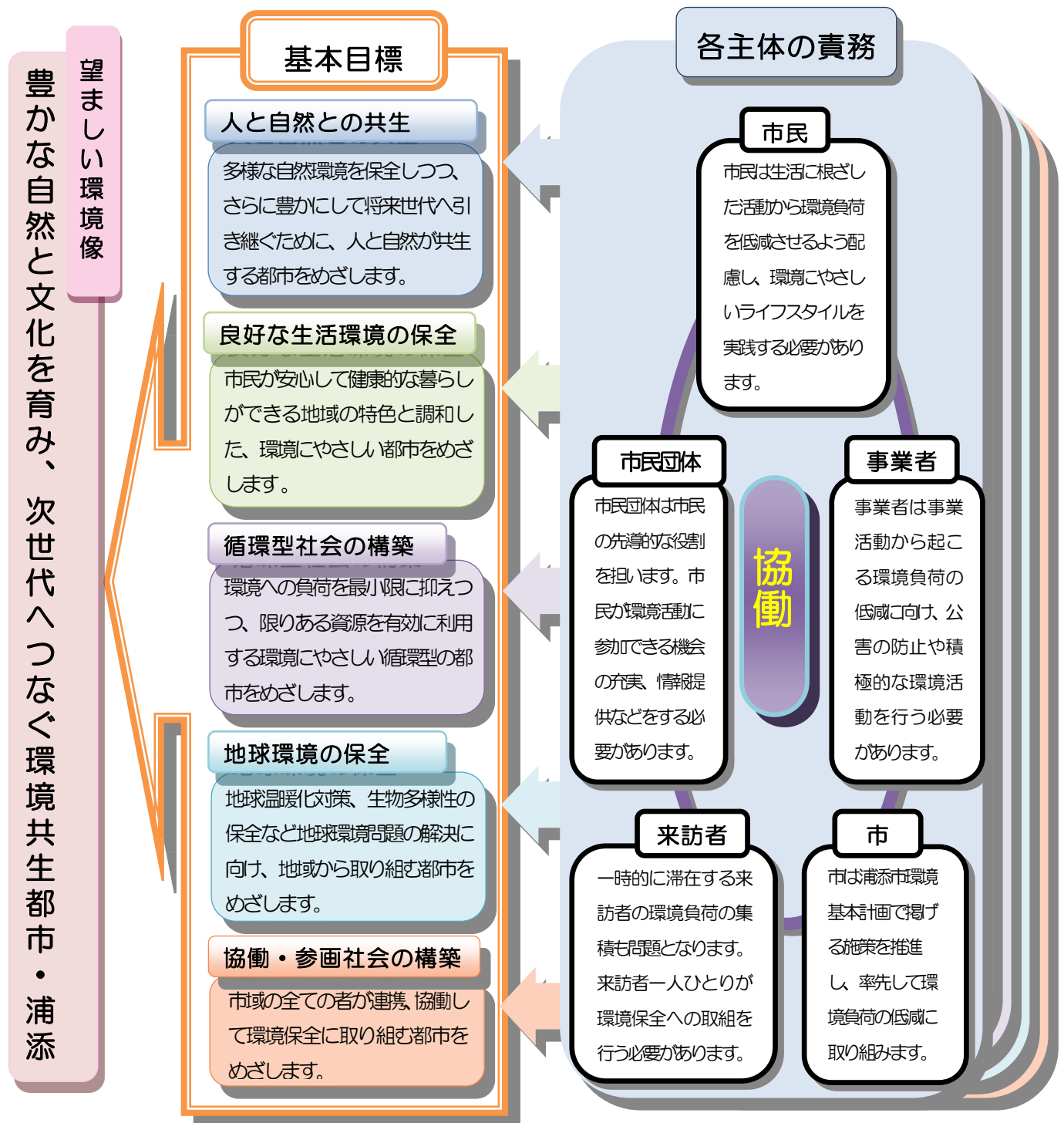
1. 浦添市環境基本計画の概要

○浦添市環境基本計画とは

浦添市環境基本条例（平成 23 年6月制定）第 10 条第 1 項の規定により策定する、本市の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画のことです。第 1 期計画が平成 31 年度で終了し、引き続き、第 2 期計画を推進しています。

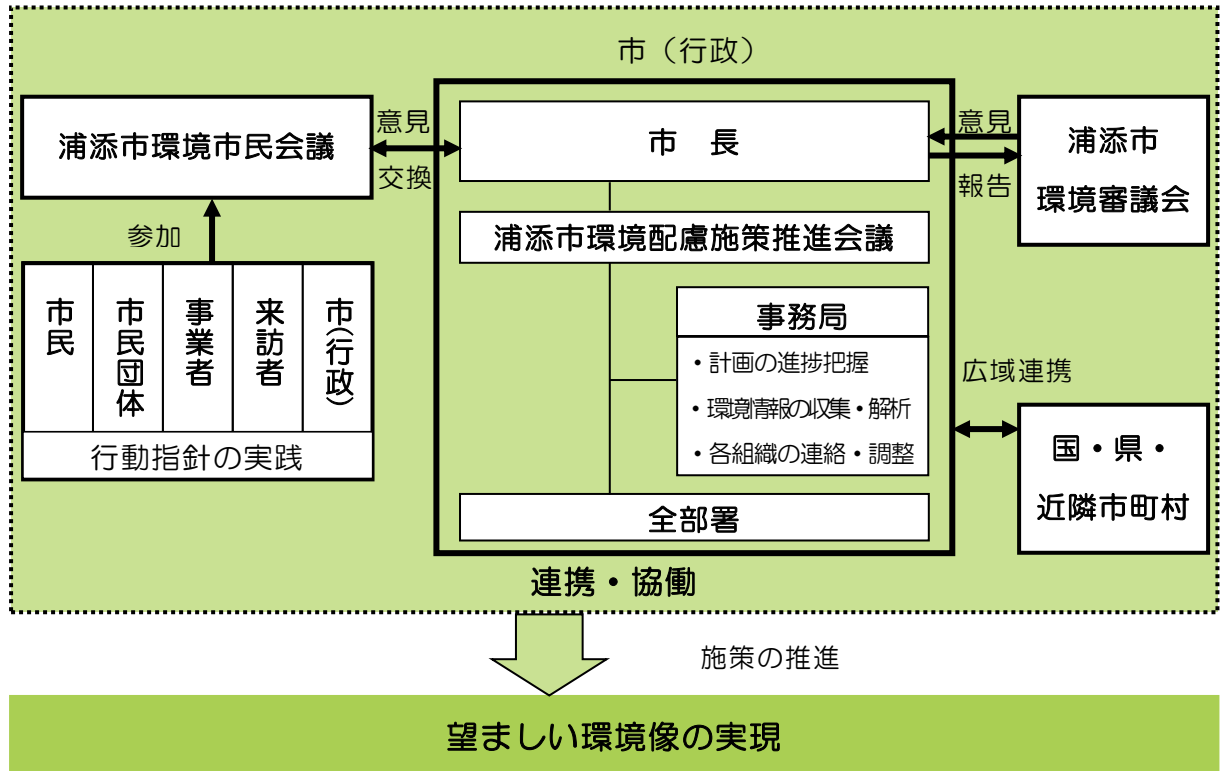
○計画期間 令和 2（2020）年度から令和 8（2026）年度までの 7 年間

○計画の全体像



○推進体制

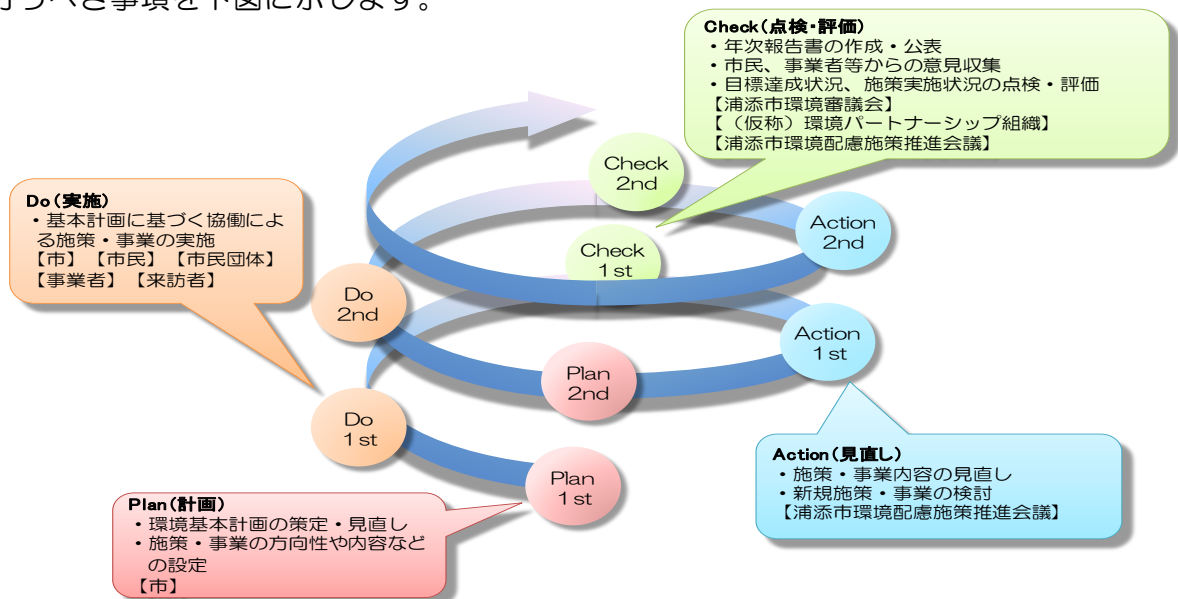
浦添市環境審議会（学識経験者、市民団体、事業者、関係機関等の代表）、浦添市環境配慮施策推進会議（本市職員）、浦添市環境市民会議（市民、市民団体、事業者の代表等）からなる推進体制を整備し、各主体協働による環境基本計画の推進をめざします。



○進捗管理

市、市民、市民団体、事業者、来訪者等が連携・協働しPDCA サイクルを基本として行い、計画の継続的かつ効率的な推進を図ります。

Plan（計画）→Do（実施）→Check（点検・評価）→Action（見直し）の各段階で行うべき事項を下図に示します。



2. 環境保全・創造のための施策の実施状況

<<達成状況の見方>>

- ★★★ （目標）達成している。（めざす方向）順調に進んでいる。
- ★★ （目標）達成していないが、目標に近づいている。（めざす方向）概ね進んでいる。
- ★ （目標）達成しておらず、努力が必要。（めざす方向）思うように進んでいない。

○基本目標1「人と自然との共生」

人と自然との共生を実現するためには、市民が水辺や緑といった自然環境と親しみ、理解を深めることが不可欠です。市民が日常的に水辺や緑と親しむ空間の創出を目標に、水辺の交流拠点として河川を利用した公園・緑地の整備を進めています。また、カーミーゼー周辺の里浜地域の保全・活用に向けて、市民、事業者、市民団体等と協働して里浜クリーンアップを行いました。今後も公園・緑地の整備を進めるとともに、本市の自然環境の重要性を周知していきます。



カーミーゼー周辺クリーンアップ

施策の方向1-1 水循環の維持、回復及び有効利用

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
市道の透水性舗装の整備箇所数	増加	9箇所	5箇所	3箇所	11箇所以上	★★
市民1人1日当たりの給水量	減少	303ℓ	313ℓ	310ℓ	—	★★
地下水の水質汚濁に係る環境基準達成状況	達成	2地点超過*	1地点超過	2地点超過	環境基準達成	★★

※「2地点超過」の内容は、「自然由来のヒ素」であることが分かっています。

施策の方向1-2 生物多様性の保全

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
みどりの確保量 (市域面積に対する割合)	増加	276ha	276ha	276ha	282ha(R12)	★★
自然環境調査の実施箇所 (浦添市環境マップの掲載箇所)	増加	14箇所	14箇所	15箇所	20箇所	★★

施策の方向1-3 環境配慮型農水産業の推進

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
農地面積※	水準維持	42.8 ha	23.4 ha	19.7ha	—	★

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
遊休耕作地の桑園利用	増加	77a	69a	57a	—	★

※集計方法の変更により農地が減少しています。

施策の方向1-4 自然とのふれあいの場の保全

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
みどりの確保量	増加	276ha	276ha	276ha	282ha(R12)	★★
自然環境調査の実施箇所 (浦添市環境マップの掲載箇所)	増加	10箇所	14箇所	15箇所	20箇所	★★

○基本目標2「良好な生活環境保全」

良好な生活環境を保全するため、水質汚濁対策を推進しています。

下水道の整備・接続の呼びかけ、合併処理浄化槽の設置推進、公共用水域へ排出水を排出する事業者への立ち入り検査などの対策を実施した結果、環境基準達成評価として7地点中6地点で環境基準をクリアすることができました。

また、飼い主のいない猫のTNR活動(避妊・去勢手術)を実施し、環境衛生の向上と殺処分減少に取り組んでいます。



TNR活動の様子

今後も、快適な都市環境を構築するため、都市マスタープランや交通基本計画等に基づき推進しています。

施策の方向2-1 人の健康及び生活環境の保全

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
公害苦情件数(総数)	減少	45件	67件	50件	—	★★
二酸化窒素濃度 (環境基準: 0.060ppm以下)	達成・維持	0.005ppm	0.005ppm	0.004ppm	達成・維持	★★★★
浮遊粒子状物質濃度 (環境基準: 0.100mg/m ³ 以下)	達成・維持	0.020mg/m ³	0.013mg/m ³	0.017mg/m ³	達成・維持	★★★★
光化学オキシダントの環境基準超過日数 (環境基準: 1時間値 0.060ppm以下)	減少	26日	3日	7日	—	★★★★

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
悪臭に関する公害苦情件数	減少	9件	21件	14件	—	★★
市内河川の各測定点における生活環境に係る環境基準達成評価※1 (BOD75%値:5mg/ℓ以下(C類型))	達成・維持	86% 7地点中 6地点達成	86% 7地点中 6地点達成	86% 7地点中 6地点達成	100% 全地点 で達成	★★
市内海域の測定点における生活環境に係る環境基準達成評価※2 (COD:2mg/ℓ以下(A類型相当))	達成・維持	1.8mg/ℓ	1.1mg/ℓ	1.0mg/ℓ	達成・維持	★★★★
地下水の水質汚濁に係る環境基準達成状況	達成	2地点超過	1地点超過	2地点超過	達成	★★
汚水衛生処理率	増加	93.2%	93.3%	93.2%	95.4%	★★
自動車騒音に係る環境基準達成率	増加	96.1% 9,792地点 中9,415地 点で達成	97.7% 9,876地点 中9,646地 点で達成	93.2% 2,009地点 中1,873地 点で達成	100% 達成	★★

(備考)

- ・※1 安謝川、牧港川、小湾川3水域の各測定点における生活環境項目の達成状況のことで
す。なお、小湾川の環境基準値はないため、C類型を参考としました。
- ・※2 市独自の各測定点を含む港川海岸の測定点における生活環境項目の達成状況のことで
す。なお、港川海岸の環境基準値はないため、A類型を参考としました。

施策の方向2-2 快適な都市環境の創造

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
地区計画地区数	増加	7地区	8地区	8地区	概ね 9地区	★★★★
公共交通機関の利用率	増加	3.6% (H18実績)	3.6% (H18実績)	4.9% (H27実績)	10% (R12)	★★
公園・緑地の箇所数	増加	88箇所	90箇所	90箇所	138箇所 (R12)	★★
市民1人当たりの都市公園面積(供用開始)※	増加	5.6m ² /人	5.5m ² /人	5.5m ² /人	10.3m ² /人 (R2)	★★
景観地区等の指定地区数	増加	2地区	3地区	3地区	概ね 4地区	★★
みどりの確保量	増加	276ha	276ha	276ha	282ha (R12)	★★
ちゅらまちサポーター制度の申請件数(個人、団体)	増加	204件	221件	222件	—	★★★★
市内の指定文化財件数(国、県、市の合計)	増加	79件	80件	80件	82件	★★★★

(備考)

・※ 平成 31 年度の目標値は、都市公園確保面積として、都市計画決定等を受けた面積のことで

○基本目標 3 「循環型社会の構築」

持続可能な循環型社会の構築を目指すため浦添市一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物の削減を推進しています。

生ごみ自己処理容器の補助やごみの減量やリサイクルの普及啓発に努めていますが、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の理由等により市民 1 人当たりのごみ排出量は増加していましたが、令和 3 年度より減少傾向にあります。

また、稼働から 40 年目を迎えたクリーンセンターの次期代替施設の建設に向けて、新クリーンセンター整備基本計画を策定し、環境影響評価業務を進めております。

今後ごみ処理基本計画の目標達成に向けて、市民・事業者への普及啓発を図ってまいります。



不法投棄現場の巡回

施策の方向 3-1 資源の有効利用の促進

項目	めざす方向	計画策定時 (H30)	R3 実績	R4 実績	目標 (R8)	達成状況
一般廃棄物の資源化率	増加	13.1%	24.1%	22.26%	19.6%	★★★★
市民 1 人が 1 日に排出するごみの量	減少	804g	840g	822g	821g	★★
リサイクルプラザ入館者数	増加	29,640 人	19,757 人	23,188 人	—	★★

施策の方向 3-2 廃棄物の適正な処理の推進

項目	めざす方向	計画策定時 (H30)	R3 実績	R4 実績	目標 (R8)	達成状況
最終処分量	水準維持	0 t	0 t	0 t	0 t	★★★★
不法投棄箇所	減少	2 箇所	1 箇所	1 箇所	0 箇所	★★

施策の方向 3-3 グリーン購入の推進

項目	めざす方向	計画策定時 (H30)	R3 実績	R4 実績	目標 (R8)	達成状況
浦添市特定調達品目数	増加	2 品目	2 品目	2 品目	—	★★

施策の方向3-4 エネルギーの有効利用の推進

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
市内の年間電気使用量	減少	5億7031万 kWh(H29)	5億8113万 kWh(R2)	5億8,741万 kWh(R3)	—	★
市内の太陽光発電設備の総発電出力	増加	1,179万 kWh	1,142万 kWh	1,085万 kWh	—	★★
市内の太陽光発電設備設置件数	増加	1,216件	1,293件	1,328件	—	★★

○基本目標4「地球環境の保全」

市の業務に伴い排出される温室効果ガス削減のため、浦添市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、その推進を図ってきました。各部署において、省エネ・節電行動や、効率的な施設運用を図ったほか、補助金を活用して市の複数施設にLED照明や高効率空調機を導入するなど、省エネに努めています。



地球温暖化防止展

また、市民等に向けた普及啓発活動として、県内関係機関や事業者等と連携し地球温暖化防止展やその他の環境啓発パネル展を実施し、環境について考える契機となるような取組を実施しました。今後、より一層、地球温暖化対策に努め、温室効果ガスの削減および温室効果ガスの吸収源となる緑化の推進に取り組んでいきます。

施策の方向4-1 地球温暖化対策の推進

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
市内の温室効果ガス(CO ₂)排出量	減少	71万 t-CO ₂ (H27実績)	72万 t-CO ₂ (H31実績)	72万 t-CO₂ (H31実績)	65万 t-CO ₂	★★
市役所からの温室効果ガス排出量の削減率(H25年度基準)	減少	△17.2%	△25.6%	△17.5%	△17.8%	★★★★
市内の年間電気使用量	減少	5億7031万 kWh(H29)	5億8113万 kWh(R2)	5億8,741万 kWh(R3)	—	★★
市内の太陽光発電設備の総発電量	増加	1,179万 kWh	1,142万 kWh	1,085万 kWh	—	★★
市内の太陽光発電設備設置件数	増加	1,216件	1,293件	1,328件	—	★★
みどりの確保量	増加	276ha	276ha	276ha	282ha (R12)	★★

施策の方向4-2 地球規模の環境問題への貢献

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
降雨のpH年間平均値(酸性雨)	改善・水準維持	pH5.0(H29実績)	pH5.4(R2実績)	pH5.51	pH5.7	★

○基本目標5「協働・参画社会の構築」

協働・参画社会の構築を図るため、環境教育・環境学習の普及啓発に力を入れております。普及啓発事業として、市内の環境保全活動を推進する環境教育リーダー育成講座と環境学習講座を開講しています。これまで、数多くの講座修了生を輩出し、環境教育リーダー受講生の中には、任意の環境保全活動団体を結成し、積極的に本市の環境保全に取り組まれている団体があり、その活動のサポートを行っています。また、自発的な活動の促進のため、市民で構成する「てだこ環境調査団」については、浦添大公園で自然観察・生き物調査を行いました。今後も、市域の自然環境等を調査し、内容の充実を図ります。



環境教育・環境学習講座

このほか、市民、事業者、関係機関等と協働で里浜クリーンアップを開催しました。今後も地域一体となり協働の取組を推進してまいります。

施策の方向5-1 環境教育・環境学習の推進

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
環境学習関連事業・講座の開催数	増加	100回	147回	173回	—	★★
こどもエコクラブ登録数	増加	0団体	0団体	0団体	10団体	★

(備考)

- ・「環境学習関連事業・講座の開催数」とは、放課後こども教室(学校教育関連)、リサイクルプラザ講座、環境教育・環境学習講座、その他事業及び講座の開催回数の総計のこと。

施策の方向5-2 自発的な活動の促進

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
CGG運動参加者数	増加	13,625人	0人(中止)	0人(中止)	—	★
牧港川クリーンアップ作戦参加者数	増加	406人	0人(中止)	0人(中止)	—	★
市民憲章環境美化活動参加者数	増加	16,541人	8,927人	11,372人	—	★
まちづくりプラン賞受賞団体数(のべ数)*	増加	201団体	225団体	229団体	—	★★

施策の方向5-3 協働の促進

項目	めざす方向	計画策定時(H30)	R3実績	R4実績	目標(R8)	達成状況
てだこ市民大学卒業生	増加	20名	受講生 83名 /全4講座	受講生56名 /全4講座	毎年 40名	★
CGG運動参加者数	増加	13,625人	0人 (中止)	0人 (中止)	—	★
市民憲章環境美化活動参加者数	増加	16,541人	8,927人	11,372人	—	★★
まちづくりプラン賞受賞団体数(のべ数)	増加	201団体	225団体	229団体	—	★★

【資料編】社会情勢及び市域環境の現況

○環境をとりまく社会情勢と政策の動向（2000年以降）

年	国際的な動向	日本の動向
2000		<ul style="list-style-type: none"> ●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 建設工事から発生する廃棄物の分別・リサイクルなどを定めた法律。 ●食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律 生産者・販売者に食品廃棄物の減量・リサイクルを義務付けた法律。 ●環境基本計画見直し 地球温暖化対策、循環型社会の形成など11の戦略プログラムが新たに盛り込まれた。
2001		<ul style="list-style-type: none"> ●資源の有効な利用の促進に関する法律 1991年に制定された「再生資源の利用の促進に関する法律」を抜本的に改正した。
2002	<ul style="list-style-type: none"> ●ヨハネスブルグ・サミット 「アジェンダ21」の実施促進や1992年の地球サミット後に生じた課題等について議論することを目的とした首脳会議。 ●京都議定書締結 	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化対策推進大綱 日本における「京都議定書」を履行するための具体的裏付けのある対策を明らかにしている基本方針。 ●新・生物多様性国家戦略 「自然と共生する社会」実現のための総合的な計画と位置づけが策定されている。 ●地球温暖化対策推進法改正 「京都議定書」を受けて、国、地方公共団体、事業者、国民が一体となって地球温暖化対策に取り組むための枠組みを定めた。
2003		<ul style="list-style-type: none"> ●循環型社会形成推進基本計画 「循環型社会形成推進基本法」に基づき策定された。 ●環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律 1人ひとりが環境についての理解を深め、取組を進めることができるよう環境教育を推進する法律。
2004		<ul style="list-style-type: none"> ●環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本的な方針 「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」に定められた事項を進めるための政府の基本方針。
2005	<ul style="list-style-type: none"> ●京都議定書発効 	
2006		<ul style="list-style-type: none"> ●大気汚染防止法改正 ホルムアルデヒドのような揮発性有機化合物を規制するための改正が行われた。
2007		<ul style="list-style-type: none"> ●第三次生物多様性国家戦略閣議決定 「生物多様性」の認知度を30%から50%以上とするなど初めて数値目標を設定した。
2008		<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化対策法改正 都道府県、政令市、中核市、特例市における施策についての計画策定を定めている。 ●省エネ法改正 事業者単位のエネルギー管理が導入された。 ●生物多様性基本法 野生生物や生息環境、生態系全体のつながりを含めた生物多様性の保存を目的とした基本法。
2010	<ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性 COP10（愛知県名古屋市） ●COP16（メキシコ）カンクン合意採択 	
2011		<ul style="list-style-type: none"> ●環境影響評価法改正 戦略的環境アセスメントの考え方が導入され、またアセス対象事業に一定規模以上の風力発電所の設置が加わった。

年	国際的な動向	日本の動向
2012		<ul style="list-style-type: none"> ●第四次環境基本計画 ●環境基本法一部改正（放射能関連）
2013	<ul style="list-style-type: none"> ●COP19（ポーランド）日本の温室効果ガス削減目標を2020年までに2005年比で3.8%削減するとした。 ●IPCC第5次評価報告書の一部公表 	<ul style="list-style-type: none"> ●使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 ●当面の地球温暖化対策に関する方針 東日本大震災後の地球温暖化対策に関する基本的な考え方
2014	<ul style="list-style-type: none"> ●IPCC第5次評価報告書統合報告書の公表 	
2015	<ul style="list-style-type: none"> ●COP21（パリ）の採択（世界の気温上昇を産業革命前から2度未満に抑えることを目標）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●パリ協定を踏まえた地球温暖化対策の取組方針の策定。
2016	<ul style="list-style-type: none"> ●パリ協定発効 	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化対策計画を閣議決定。
2017		<ul style="list-style-type: none"> ●気候変動適応法案を閣議決定。
2018	<ul style="list-style-type: none"> ●IPCC1.5℃特別報告書の公表 1.5℃の気温上昇にかかる影響や関連する地球全体の温室効果ガス排出経路に関する報告書。 	<ul style="list-style-type: none"> ●第五次環境基本計画の閣議決定 ●気候変動適応法の公布 ●「気候変動適応計画」の閣議決定
2019		<ul style="list-style-type: none"> ●パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略策定の閣議決定 早期に脱炭素社会を実現し、2050年80%減に取り組むとした。
2020		<ul style="list-style-type: none"> ●「日本のNDC（国が決定する貢献）」の地球温暖化対策推進本部の決定 2015年の水準から更なる削減努力の追求に向けた検討を開始することを表明したものの。
2021	<ul style="list-style-type: none"> ●COP26（グラスゴー）の採択（世界の気温上昇を産業革命前から1.5度に抑えることを目標） 	
2022		<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行。

沖縄県の動向	浦添市の動向	年度
<ul style="list-style-type: none"> ●沖縄県環境基本条例 環境の保全及び創造について基本理念を定め、県、事業者及び県民の責務を明らかにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ●第二次浦添市一般廃棄物処理基本計画（中期計画） 	2000
		2001
<ul style="list-style-type: none"> ●ちゅら島環境美化条例 県民、事業者、行政等が一体となって、空き缶・吸い殻等の散乱を防止することを目的とする。 ●沖縄県振興計画 2002年度から2011年度までの10年間。国・アジア・太平洋地域の社会経済及び文化の発展に寄与する特色ある地域として整備を図る。 		2002
<ul style="list-style-type: none"> ●沖縄県環境基本計画 沖縄県環境基本条例の基本理念の実現に向け、県民、事業者、行政等の各主体による環境保全の促進を図る。 		2003
	<ul style="list-style-type: none"> ●浦添市都市計画マスタープラン 優れた自然環境や豊富な歴史・文化資源を活かした都市づくりと今後の街づくりにおいて、地域住民の参加による街づくりを基本としている。 	2004

		2005
	●第二次浦添市一般廃棄物処理基本計画（後期計画）ごみの適正な処理、生活排水処理に係る基本的事項を定める。	2006
●第三次沖縄県環境保全実施計画 沖縄振興計画における環境の保全及び創造に関する施策の短期の具体的な実施計画。	●第三次浦添市総合計画後期基本計画 浦添市の 21 世紀を眺望するまちづくりの基本となる計画。	2007
●沖縄県生活環境保全条例 沖縄県公害防止条例の全部を改正した条例。事業活動及び日常生活に伴う環境への負荷を低減する行動を実施するための指針を定めた。	●浦添市景観まちづくり計画 行政と市民、企業、NPO が一緒になり、浦添の自然、歴史、文化等美しい風景を守り、誇りと愛着の持てる「てだこの都市・浦添」の実現に寄与することを目的に策定された。	2008
沖縄県の動向	浦添市の動向	年度
	●浦添市地球温暖化対策実行計画 浦添市の事務・事業に伴う温室効果ガスの排出抑制並びに吸収作用の保全及びその強化のための取り組みを実践し、地球温暖化対策の推進を図る。 ●浦添市グリーン購入調達方針 浦添市の需要面から配慮した物品等の購入を総合的・計画的な推進を図る。	2010
●おきなわ 21 世紀ビジョン 21 世紀ビジョンは、県民の参画と協働のもとに、将来（概ね 2030 年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取組の方向性と、県民や行政の役割などを明らかにする基本構想。 ●沖縄県地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 2003 年策定の「沖縄県地球温暖化対策地域推進計画」の改訂版。2020 年度までに、県域内の温室効果ガス総排出量を 2000 年度と同レベルから 8%削減することを目標に掲げた。 ●おきなわアジェンダ 21（改訂版） 2001 年策定の「おきなわアジェンダ 21」の改訂版。1992 年「地球サミット」で提唱された「ローカルアジェンダ」の沖縄県版で、行政、事業者、市民団体、県民の協働のもと、各主体が自覚を持って行動するための啓発・行動計画と位置づけている。	●浦添市環境基本条例 環境の保全と創造についての理念や基本方針を明らかにした。 ●第三次浦添市一般廃棄物処理基本計画 1996 年（平成 8 年）策定の第二次計画の改訂版。一般廃棄物の適正な処理と再資源化、生活排水処理に係る基本的事項を定める。 ●第四次浦添市総合計画 浦添市の 21 世紀を眺望するまちづくりの基本となる計画。第三次計画の計画年度終了に伴い新たに策定。 ●浦添市エネルギー管理規則 市長事務部局等におけるエネルギーの使用の合理化の適正かつ有効な実施について必要な事項を定めた。	2011
●環境保全率先実行計画（第 4 期）－沖縄県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）－」を策定	●浦添市環境基本計画 浦添市の環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図る。 ●浦添市墓地基本計画 ●浦添市交通基本計画	2012
●第 2 次沖縄県環境基本計画 ●生物多様性おきなわ戦略 沖縄の豊かな自然環境の基礎的要素である生物多様性を保全し、持続可能な方法で利用していく道筋を示す基本的な計画。	●浦添市都市マスタープラン	2013
●沖縄県環境教育等推進行動計画 沖縄県の特性に応じた環境教育等を推進するための計画	●第 2 期浦添市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定	2014
●沖縄県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定 2020 年度までに、県域内の温室効果ガス総排出量を 2000 年度と同レベルに削減することを目標に掲げた。	●第三次浦添市一般廃棄物処理基本計画（後期計画）の策定 2011 年（平成 23 年）策定の第三次計画の改訂版。一般廃棄物の適正な処理と再資源化、生活排水処理に係る基本的事項を定める。	2015
	●浦添市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定 浦添市域より排出される温室効果ガスの排出抑	2016

	<p>制に向け、市民、事業者、市等の各主体による地球温暖化対策の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新一般廃棄物処理施設整備に関する基本合意書の締結 中城村・北中城村・浦添市によるごみ処理の広域化に向けた基本合意。 	
●環境保全率先実行計画（第4期）－沖縄県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）－を改訂	●浦添市里浜の保全及び活用の促進に関する条例 浦添市のカーミーサー周辺の海岸を里浜と定め、里浜の保全や活用、協働のまちづくりに寄与することを目的とする	2017
	●うらそえ里浜の保全・活用ガイドライン 里浜を保全し、憩いの場として活用するために、利用にあたっての心得等を示している。	2018
沖縄県の動向	浦添市の動向	年度
	●浦添市と中城村及び北中城村とごみ処理広域化に係る「事務の委託」の開始。	2018
	<ul style="list-style-type: none"> ●新クリーンセンター整備基本計画・基本設計の策定 ●第2期浦添市環境基本計画の策定 第1期計画にはなかった、「里浜の保全」、「スマートシティ型まちづくり」、「プラスチックごみ対策の推進」を追加した。 	2019
	●第4次添市一般廃棄物処理基本計画の策定 新クリーンセンター整備について推計ごみ量や処理方式等を明記した。	2020
●環境保全率先実行計画（第5期）－沖縄県地球温暖化対策実行計画（事務事業編）－を策定	●新クリーンセンター整備基本計画・基本設計の改訂	2021
●沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブを改定		2022

浦添市環境基本計画 年次報告書（令和4年度版）
令和6（2024）年4月

浦添市 市民部 環境保全課
〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶 1-1-1
TEL 098-876-1250